

平成 24 年度 伊勢地域公共交通会議 第 2 回 議事要旨

日時：平成 25 年 1 月 16 日（水）10:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-3 会議室

出席者：全 14 名

市民代表 3 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署 1 名（交通第一課長代理）

三重県 1 名（三重県地域連携部交通政策課長代理）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 3 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

1. 平成 25 年度の運行（案）検討について

事務局より、平成25年度の運行（案）検討について、資料を用いて説明。

御菌ルートは車両小型化によりどの程度経費を削減できるか。また、このことによるダイヤの変更はどの程度になるか。（市民代表）

⇒御菌ルートの運行費用は約 1,300 万円であり、車両小型化によりこのうちの 50 万円が削減できる。ダイヤについては、第 3 便～5 便が 10 分～30 分程度の変更となる。車両小型化の経緯は、御菌ルートでは空バスが見受けられたこともあり、デマンド運行への移行も検討したが、伊勢赤十病院への利用者が増加傾向のため、まずは車両小型化からとした。（事務局）

御菌ルートは伊勢市の中心を走行するルートであり、ときには 10 人以上乗ることもあるため、デマンドへの移行は反対である。（市民代表）

デマンド運行について不便との意見は届いていないか。デマンド運行では予約が必要なため、出かけるのに計画を立てなければならない。（市民代表）

⇒予約が面倒との声はある。予約は電話でできて、乗車の1時間前までにすればよいが、慣れが必要。乗り方が分かりにくいとの意見があるので、ケーブルテレビ行政チャンネル等で具体的な乗り方を紹介したい。また、使う人が限定的であることが課題となっている。利用者が減ると廃止となることもあるので利用促進等の啓発が必要である。(事務局)

御菌ルート of 車両小型化について、10人以上乗ることもあるが、そのような場合はどうするか。御菌ルートは、4月～11月の利用実績が前年度比で817人増とのことである。車両小型化は利用者にとっていかがか。(三重運輸支局)

⇒10人以上乗ることはどのルートでもコンスタントにあるわけではない。10人を超えたら2台目を出す。追車によりかえってコストがかさむ場合は元に戻すなど柔軟に対応したい。(事務局)

⇒4～12月で乗客が10人以上となったのは10回。平均すると月1回程度。(事務局)

利用が多いという時間帯でも10人を超えるのは月に数回あるかないかという状況。日赤移転により乗客は増加傾向にあるが、今後も増えるのであれば市と協議して対応したい。追車が多すぎた場合はバスを走らせることも考えている。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

地元でもおかげバスが通っていることは良いことだと、おかげバスをあてにして乗る人が出てきた。1回乗れないと次から乗らないということも考えられる。(市民代表)

⇒利用者の気持ちを大切に慎重に対応したい。(議長)

2. その他

【平成25年度の予算の編成(案)について】

事務局より、平成25年度の予算の編成(案)について、資料を用いて説明。

⇒意見もないようなので、次回、議題として具体的な数字をお示しして議論していただくこととしたい。(議長)

【沼木地区における自主運行バスの運行について】

沼木地区における自主運行バスの運行について、資料を用いて説明。

地域中心で取り組むのは良いこと。教育委員会や、三重交通も含めてどのような課題があるのか。(三重運輸支局)

⇒担当が制度の説明に地元へ入っているが、市として地元と自主運行バスをする・しないの折衝はしていない。現在はまだ整理が必要と考えている。例えば、地元では、試行期間は運賃無料を希望しているが、市としてどうしていくか。バスは購入にするのか、リースにするのかという課題がある。

教育委員会の関係では、前提が沼木線の廃止というのがあり、沼木線は、教育委員会と交通政策課が距離按分により赤字相当額の約1,200万円を補填し、三重交通に運行していただいている。しかし、沼木線には、沼木地区以外に通学で利用している区間があり、その部分についてどうするのかを教育委員会と協議をしている。まだ整理に時間を要するが、7月に要望書を得ているので、公共交通会議に経過を報告している。(事務局)

ミニバス運行の所管は、この伊勢地域公共交通会議となるのか。(伊勢警察署)

⇒公共交通の位置付けとしては関与するが、運営は地元となる。地元で運営を継続していけるかという課題もある。(事務局)

地域が一生懸命取り組んでおり良いこと。一方、この沼木地区をモデルケースとして他地区への展開は考えているのかとか、市全体の交通をどうしていくかを考えておいた方がいいと思う。(三重運輸支局)

目的を見失わないように進めること。ハード面では車両の関係、ソフト面では利用者の確保、運用方法、スケジュール的な面など、この辺りを明確にしておいたほうが良いと思う。

(伊勢警察署)

⇒沼木地区の自主運行バスについては、ステップが進みましたらまた皆さんにお示しして意見を頂戴したいと考えます。(議長)

【その他】

乗車の際、ステップが高いとの声を聞く。(市民代表)

⇒低床化に努めたい。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

おかげバスの運行遅延について、御菌ルート of 伊勢赤十字病院付近のミタス伊勢の交差点で夕方や日曜日などに渋滞が発生するため、対策をお願いしたい。辻久留・藤里ルートでは、宇治山田駅前の信号が短く、渋滞が発生していると駅への出入りで4分遅れることもあるため、対策をお願いしたい。(三交伊勢志摩交通労働組合)

⇒ミタス伊勢の交差点のバロー側からの進入については、3月末までに右折矢印信号の設置を予定している。宇治山田駅前の信号は試行中であり、現在もデータを集積しているため、随時周期の変更を図っていく。(伊勢警察署)

⇒三重県知事と対談した際に、伊勢市内の渋滞箇所が県道に多くあるため、県道の整備を要望した。(議長)